

# 【効率的な店頭回収モデル構築に向けてのパイロット試案】

～オフィスビル回収による代替実験の可能性～

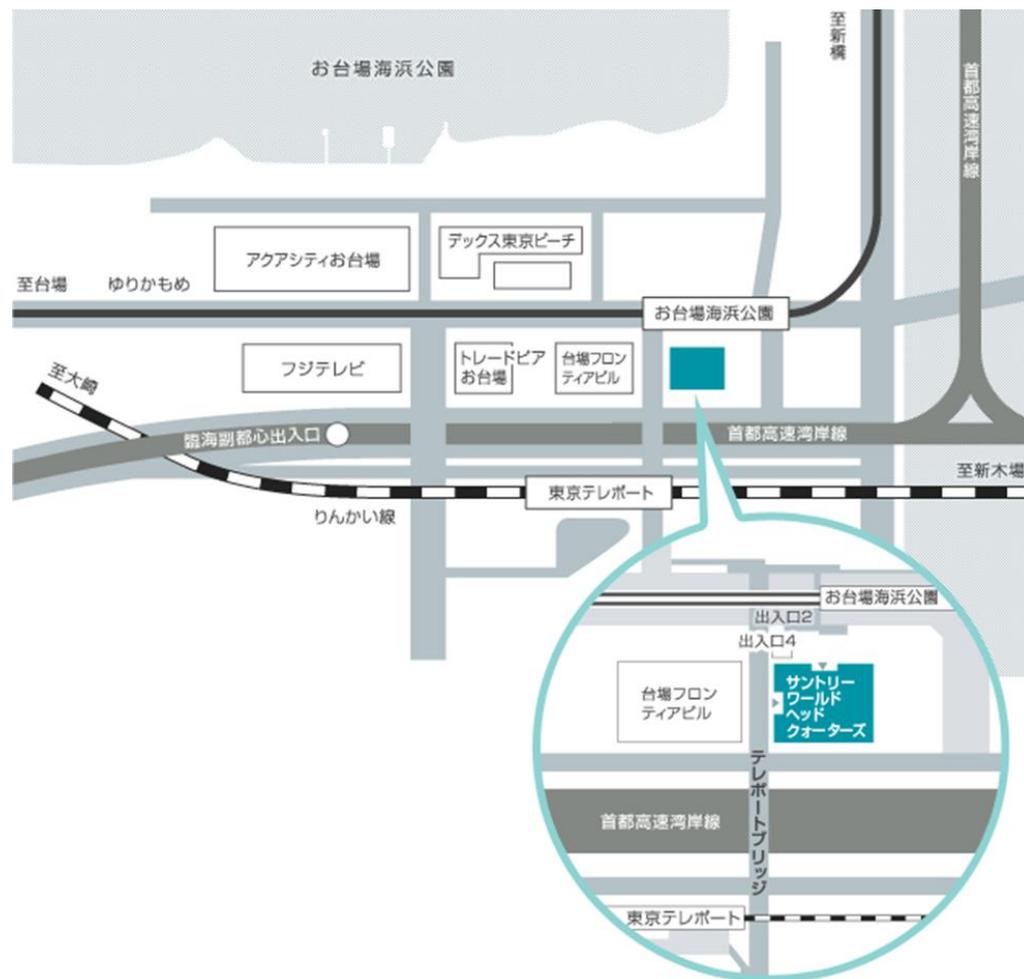
サントリービジネスエキスパート(株)

2014/10/31

# 当社ビル概要

サントリーワールドヘッドクォーターズ  
〒135-8631  
東京都港区台場2-3-3

12F建て自社ビル  
ビル内従業員数：1,500人



- ・オフィスフロア（ビル清掃会社）、社員食堂（社食委託従業員）、レストラン（レストラン従業員）で収集されたボトルを回収している。
- ・オフィスフロアの回収は、11:30、15:00、18:30の3回/日。



回収

集積

引取



- ・地下集積場で大袋に入れられ一時保管。
- ・地下集積場での分別は実施していない。
- ・業者引き取り前に計量。

- ・産廃業者に引渡し。
- ・PETボトルは、パッカー車にて搬送。

## 当社ビル 回収数量

	13年	14年
1月	504	493
2月	802	712
3月	653	654
4月	625	564
5月	728	524
6月	946	738
7月	592	649
8月	635	646
9月	656	710
10月	565	
11月	588	
12月	583	
合計	7,876	5,690

1日（平日）あたり：32kg  
1日1人あたり：21.3g(≒1本)

## 物流費用（推定）



4トン車 1日貸切費用：  
3.5～4万円/日  
※12時間/日（土日抜）年契時



1日1トン収集できれば、  
輸送費用は40円/kg以下になる。  
※無償引取前提

$$1 \text{ トン} \div 32 \text{ kg} = 32 \text{ (ビル数)}$$

当社ビルが32棟分、もしくは、47,000人分のオフィスPETボトル収集が確実な採算ライン

台場エリアのオフィスビルで1日にどれだけボトル収集し、TPRへ運搬できるかの検証  
(数量が集まらなければ、品川エリアまで拡大も視野)

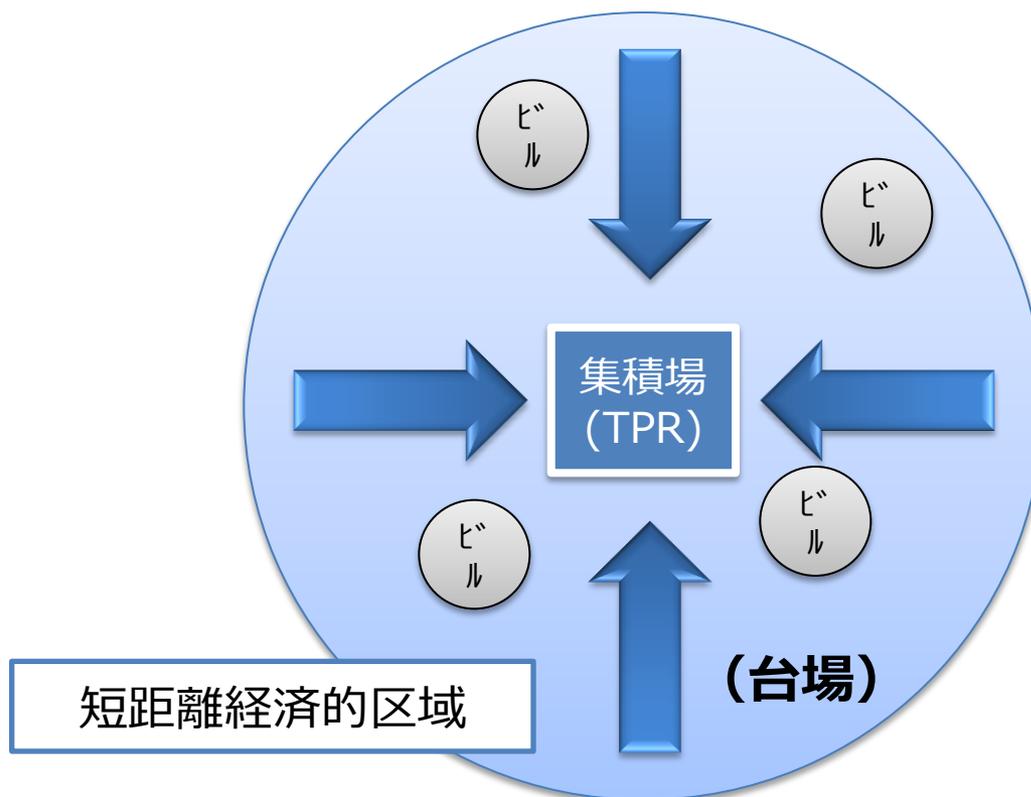


## 台場エリアのオフィスビルの立地状況（代表的なもの）

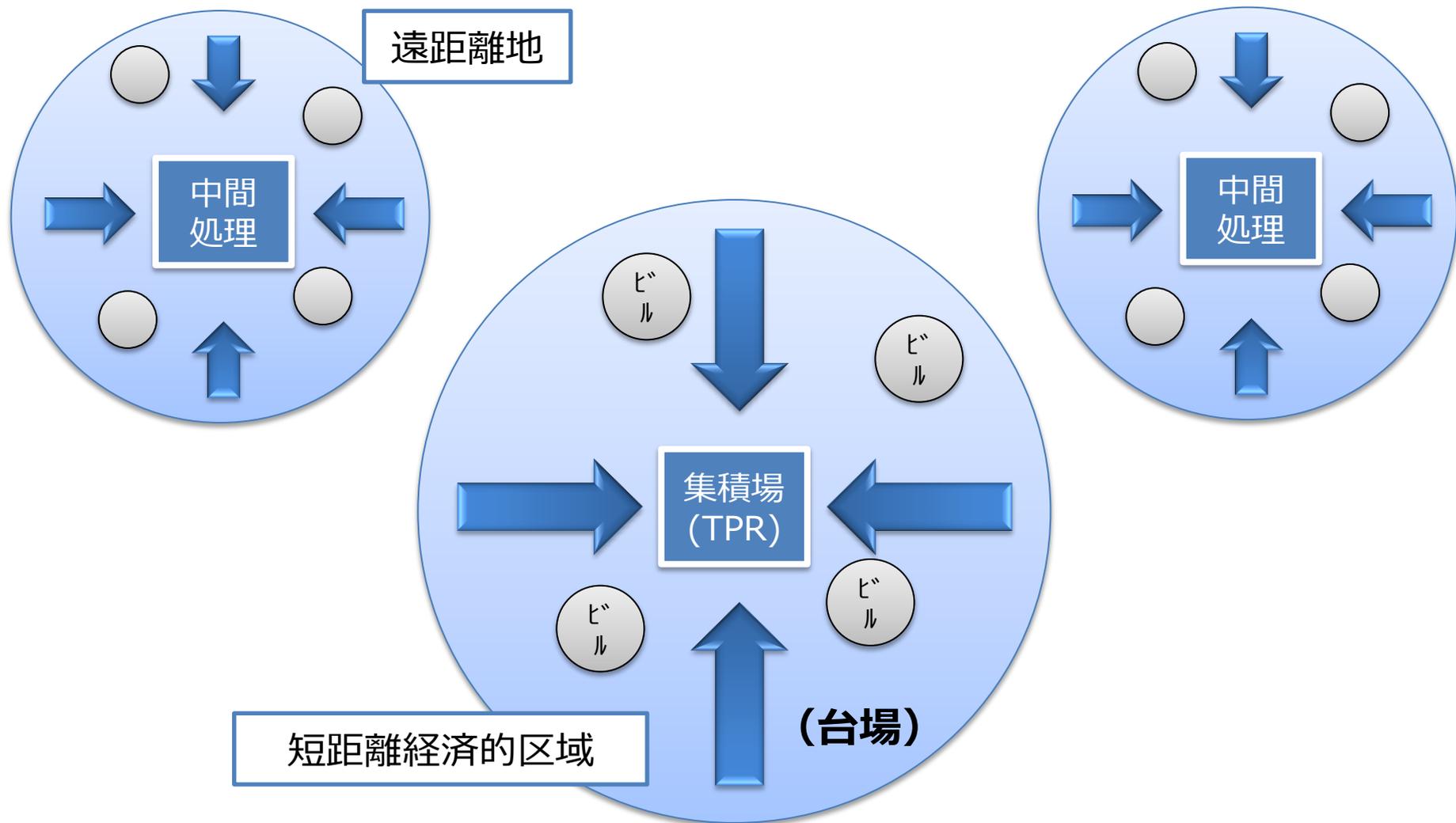
- 海浜公園～台場エリア：6施設
- ・サントリー(12F)
  - ・乃村工藝社・本社(不明)
  - ・台場ガーデンシティビル(12F)
  - ・台場フロンティアビル (23F)
  - ・トレードピアお台場ビル(24F)
  - ・フジテレビ本社(25F)

- 有明エリア：6施設
- ・TFT西館・東館(9F\*2)
  - ・TOC有明西館・東館(21F\*2)
  - ・ヤマト運輸東京主管
  - ・有明フロンティアビル (21F)

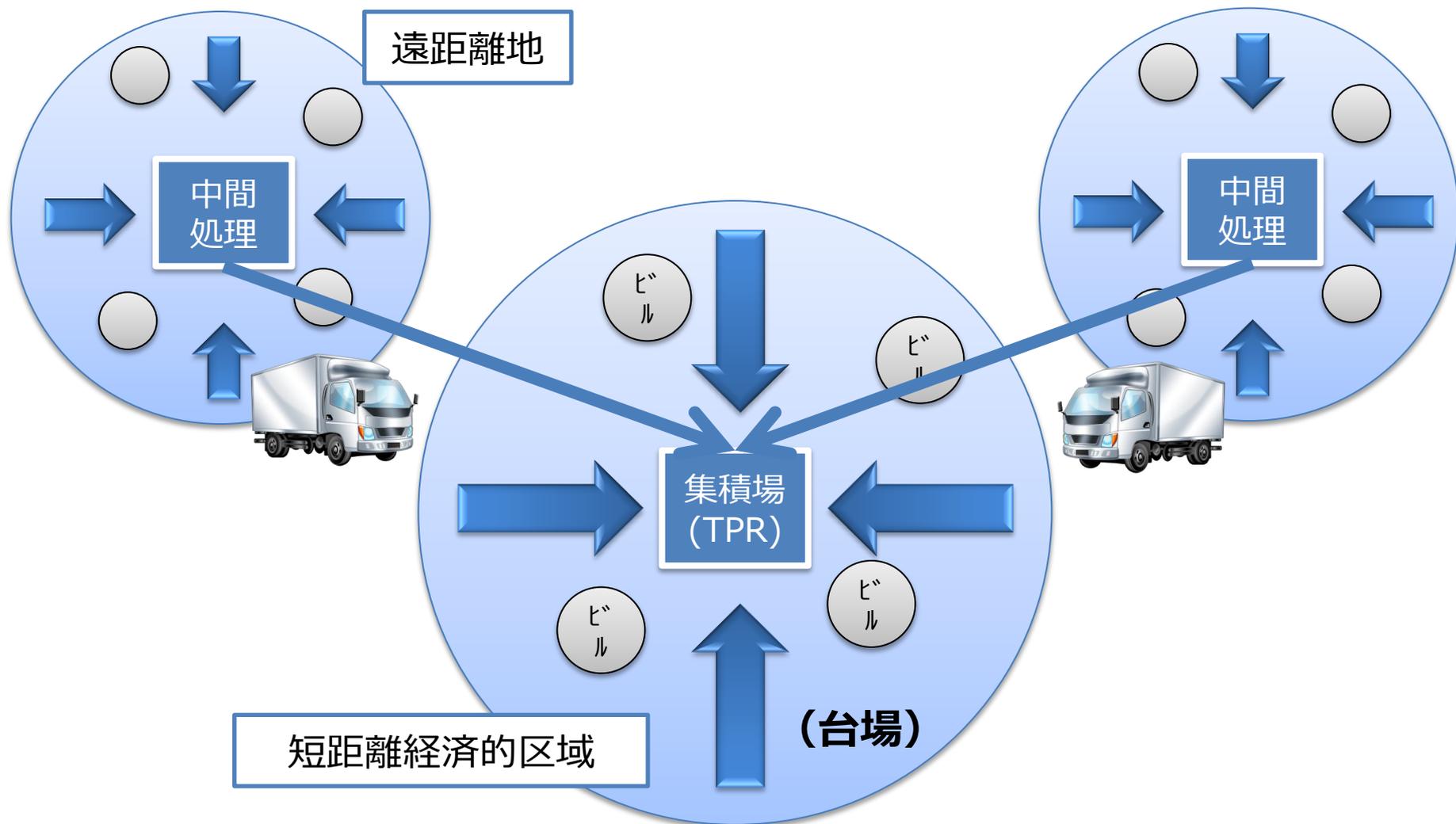
- テレコムセンターエリア：12施設
- ・テレコムセンター(21F) ・東京湾岸警察署
  - ・産業技術総合研 (本館・別館)
  - ・東京港湾合同庁舎 ・フジテレビ
  - ・都立産業技術研究センター ・the SOHO(13F)
  - ・海上保安庁海洋情報部 ・タイム24ビル(19F)
  - ・東京電力青海変電所
  - ・有明セントラルステーションTACS (8F)



# (台場)短距離モデルからの展開

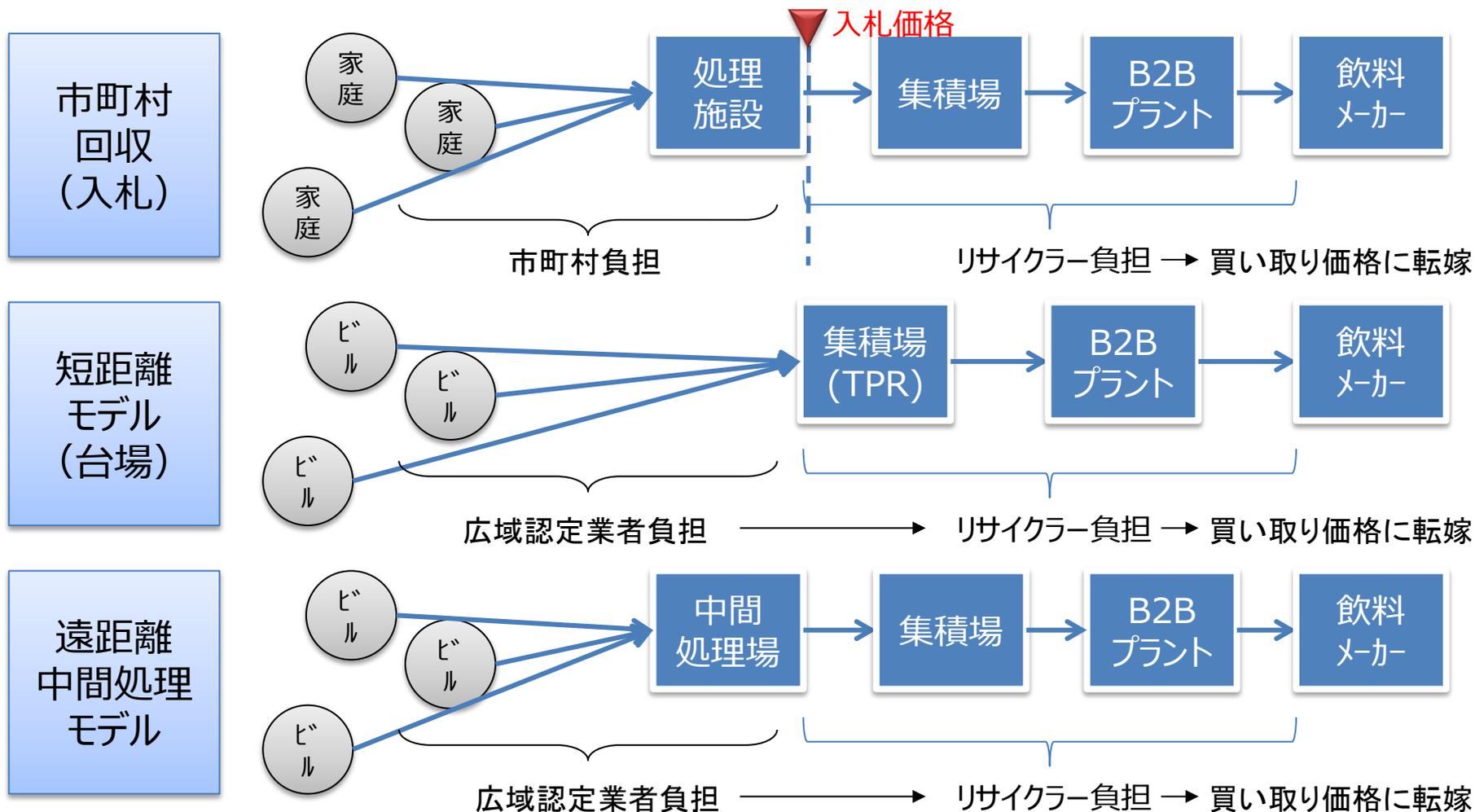


# (台場)短距離モデルからの展開

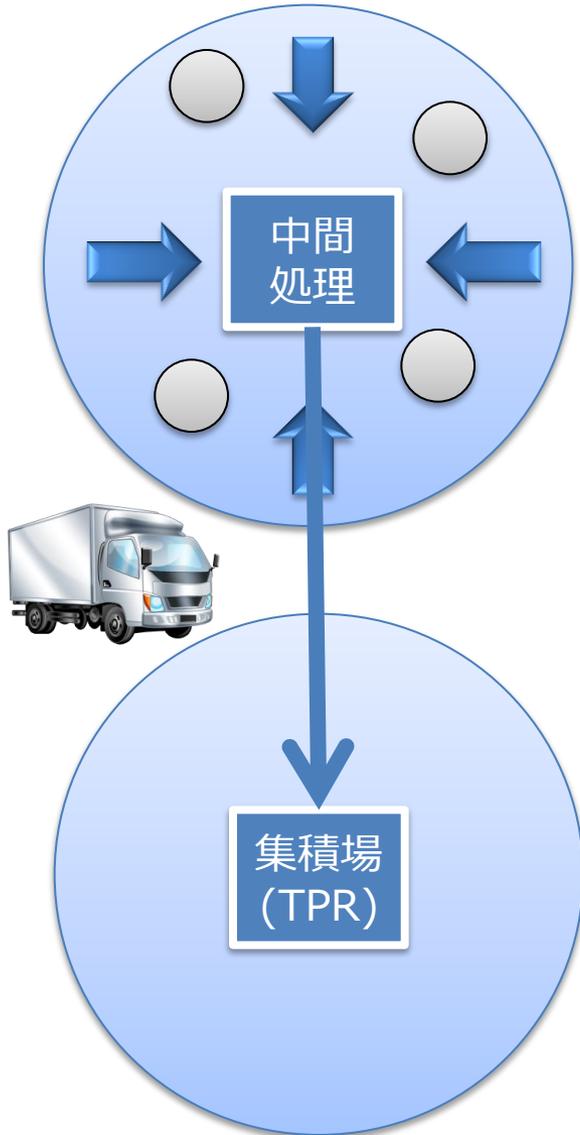


短距離回収での経済性検討が遠距離回収での経済性検討に直結

# 回収系毎のコスト

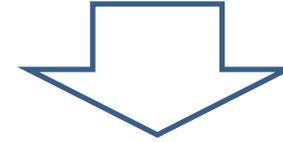


入札価格 = 短距離集積場着価格 = 遠距離中間処理済価格



$$\begin{aligned} & \text{遠距離中間処理済価格} \\ = & \text{短距離集積場着価格} + \text{中間処理費用} \end{aligned}$$

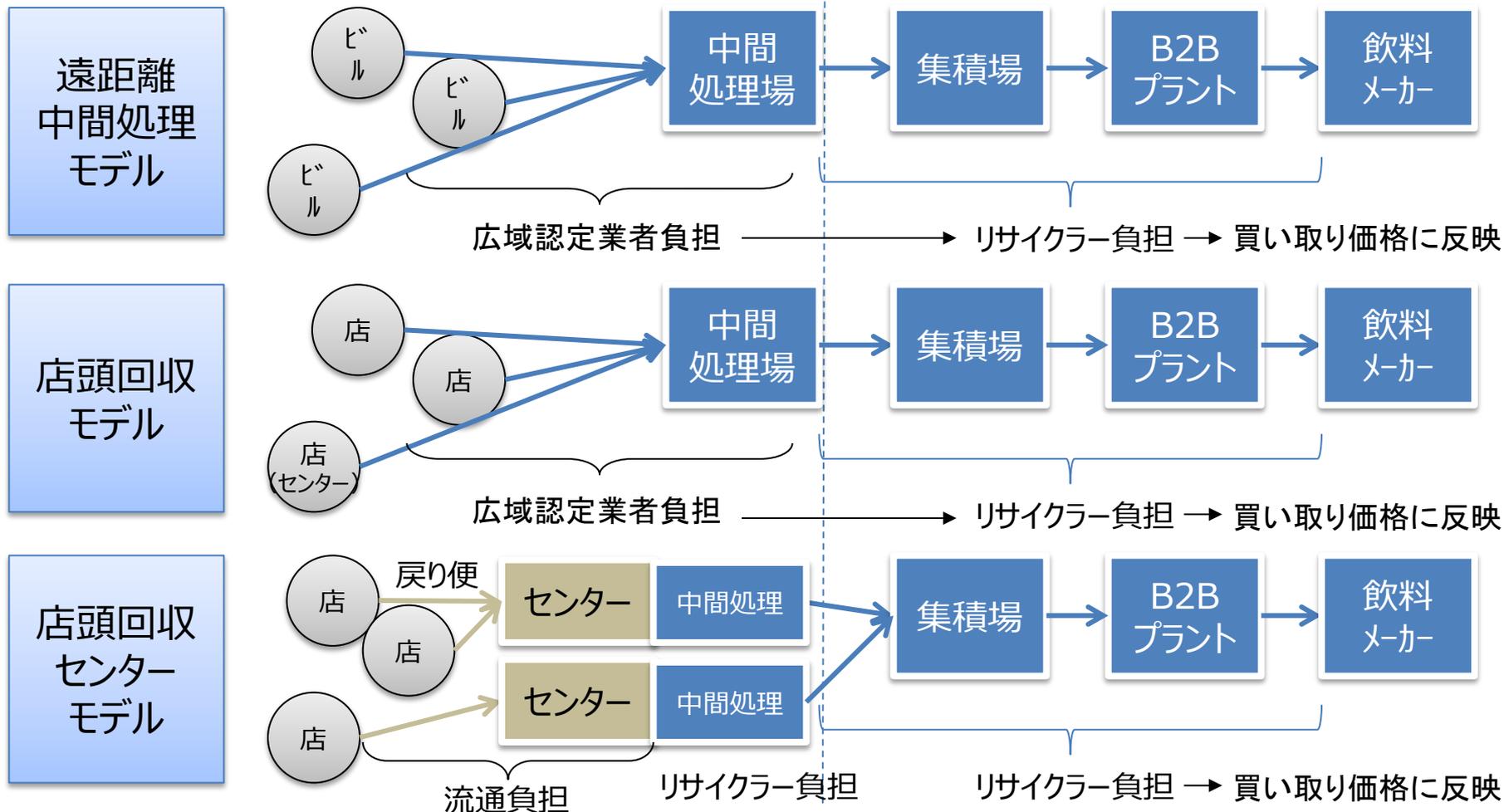
短距離モデルが成立しても、中間処理費用込みで  
目標価格に届かないと経済性はない。  
(中間処理場⇒集積場の物流費は無視できる)



遠距離回収系で検討・克服すべきテーマ

- 中間処理場の場所選定
- 処理の仕方・処理機の仕様/コスト
- 人件費

# 店頭回収モデルとの類似性



遠距離モデルと店頭回収モデルはほぼ同等のため代替検討になりうる。

以上